

## 教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 録

平成27年7月23日 午前9時30分 開議

## 出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	林 正 美
委 員	小 田 伊佐浩
委 員	柳 瀬 ひろみ
委 員	菅 沼 由貴子

## 説明のための出席者

教育部長	柴 谷 好 輝
教育部次長	赤 谷 雄 助
教育部次長兼学校教育課長	松 平 貴 圭
教育部次長兼中央図書館長	中 森 利 仁
庶務課長	鈴 木 敏 彰
学校教育課主幹	山 田 佳 宏
生涯学習課長	前 田 清 彦
スポーツ課長	中 村 幸 夫
学校給食課長	大 林 充 始

## 教育長が指定した事務局職員

主 事	中 尾 成 利
-----	---------

## 議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第24号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第3 第25号議案 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について（非公開）
- 第4 その他報告 平成27年6月定例市議会における教育問題について

「高本教育長」 定刻になりましたので、只今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに日程第1、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、林・柳瀬両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「高本教育長」 続いて、日程第2、第24号議案「教職員の任用について」及び日程第3、第25号議案、「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」ですが、第24号議案「教職員の任用について」は職員の人事に関する案件のため、議事を非

公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。また、第25号議案「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」は、採択に対する働きかけを排除するなど、公正に万全を期す必要があると判断致しまして、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録し、教科用図書の確定後に開示請求に基づき開示を行うこととしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

異議なしと認め、第24号議案及び第25号議案は非公開とします。それでは、事務局から第24号議案「教職員の任用について」説明をお願いします。

「松平教育部次長」 第24号議案「教職員の任用について」を資料に基づき説明。

(以下、議事内容は個人情報に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 続いて日程第3、第25号議案「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題と致します。

(以下、教科書採択に対する働きかけを排除するなど、公正に万全を期す必要があるため議事を非公開)

「高本教育長」 それでは続きまして、日程第4、その他報告「平成27年6月定例市議会における教育問題について」事務局から説明をお願い致します。

「柴谷教育部長」 それでは6月定例市議会一般質問についてご報告いたします。

今回の一般質問は、全体で19名の議員が質問をされました。そのうち福祉関係が8名と多かった事が特徴で、教育関係は3名という状況でした。教育委員会に頂いた質問とその答弁につきましては、資料6ページの一覧表をご覧ください。また、7ページ以降が答弁要旨となります。

まず、浦野隼次議員から、スポーツの盛んなまちづくりについて質問がありました。資料は7から10ページです。こちらにつきましては、硬式野球場の整備に限定したもので、私からご説明させていただきました。硬式野球場の整備に関するこれまでの検討状況についてということで、平成24年度から開始した調査検討の内容と、野球関係者等を対象として開催した2回の説明会の内容をご説明したのち、千両町のスポーツ公園野球場について中学生の硬式野球大会が開催できるよう、県道側防球ネットのかさ上げ改修工事を平成26年度に完了、また諏訪の市野球場については平成27年度に大規模改修工事を行うとお答えしました。

次にスポーツ公園野球場と市野球場の改修工事内容について、スポーツ公園野球場を中学生の大会までに制限した理由と、中学生の硬式野球大会に使用するためにあたっての注意点をご説明したのち、市野球場の大規模改修工事の具体的な内容について、平成6年の「わかしゃち国体」の際に全面的な改修工事を行って以来、各所に経年劣化が進んでいる為、損傷した箇所を中心に必要な改修を行うことをご説明し、使用できるのは平成28年の夏頃からの予定であるとお答えいたしました。

次に、硬式野球場の新設に対する市の考え方について、平成24年度に実施した調

査で、新設野球場は多額の整備費が必要であり、社会インフラの総量縮減が進められている中で、市野球場を維持しつつ新設野球場を整備することは、将来世代へ負担を残す為問題が多いとの結果が出ており、一方、説明会において野球関係者から今すぐとは思っていないが、長期的ビジョンで考えて欲しいとのご要望もあり、後年度負担も含めて財源的に厳しいことから、現時点としては10年後、20年後といった長期的な課題であると考えているとお答えしました。

最後に、議員本人からの硬式野球場新設に対する思いについてご発言があり、この質問を終わりました。

次に、安間寛子議員から豊川市の子どもたちの未来を保障する施策についてご質問があり、小中学校の普通教室へのエアコン設置について、私からお答えさせていただきました。資料は11、12ページでございます。

まずこの夏の全校での教室室温調査の実施について、その目的と内容をご説明したのち、普通教室へのエアコン設置の本市の考え方について、全国・県下の普通教室へのエアコン設置の状況として、平成26年4月のデータで、全国の設置率が32.8%、愛知県が12.9%、今年度、春日井市とみよし市で設置工事が予算化されているが東三河では予算措置等の段階には入っていない事、本市の考え方としては益々老朽化が進んでいく校舎等の改修を計画的に進めなければならないことやトイレの洋式化など優先的に取り組んでいる事業があることから、これまで通り現時点では普通教室にはエアコンを設置する予定はないが、引き続き県下各市の動向は注視していきたいとお答えしました。

次に、熱中症対策に対する認識と学校における対策について、児童・生徒の健康管理の点でも大変重要であり、施設の環境整備の点でも課題の検証は続けていくこと、また、学校現場の熱中症対策はこれまでも取り組みを行ってきたが、子どもたちに熱中症にたいする正しい知識を持ってもらうよう、授業等の機会を捉えて指導していくほか、迅速且つ適切な対応を図り、事故防止に努めるとお答えしました。

次に、中村浩之議員から子どもたちの安全に向けた取り組みについての質問がありました。資料は13から15ページになります。まず、学校内の工事における安全対策について、私からお答えしました。学校内の工事の安全対策として、特に工期が長期に亘る校舎の改築・改修工事として、東部小学校と八南小学校を例に、工期を通して工事区域と学校生活の区域とを分離するほか、適宜、工事車両出入りには留意するなどの対策を講じていること、また、安全面に対する子どもたちへの配慮については、関係者間で打ち合わせ会を設け、留意事項について、子供たちや保護者、地域へも注意を促すなど、学校の教育活動への支障を最小限にする為の配慮を行っている旨をご説明いたしました。

次に、通学路の安全については、教育長が答えられました。

まず、通学路における安全確保については、学校では教職員が引率下校を行い、児童が安全に登下校をしているが、新たな危険箇所が生じていないかを確認しており、保護者や地域の方などから情報が寄せられるなか、学校で安全指導や通学路の見直しを行っているとお説明されました。また、通学路の安全に向けた関係機関との連携については、豊川市通学路安全プログラムを策定し、合同点検や対策の検討を行ってお

り、本年度は南部中学校区と代田中学校区の小学校を対象に対策を検討すると答えられました。次に点検結果や対策内容の公表の状況については、問い合わせや閲覧の希望があれば公表できるようにしており、より多くの人に的確な情報が提供できるよう、今後も公表のあり方を検討していくと答えられました。この後、建設部長から、豊川市通学路安全プログラムで平成26年度に実施した、東部小学校と一宮東部小学校の交通安全対策についての説明がありました。

次に、通学路以外の安全対策について、まず建設部長から、交通事故発生現場や交通安全対策についての説明がありました。引き続き、教育長が答えられ、まず、通学路以外の危険な場所の把握状況については、学校への通報や各種会議での情報交換から、危険な場所や危険な遊び方をしている子どもたちの情報を得ており、また、保護者アンケートにより、情報を集約し、その結果を情報発信している学校もあると答えられました。

次に、通学路以外の危険な場所に対する子どもたちへの指導については、随時、子どもたちに伝える事、通学団会で確認する事、安全マップを作る事、交通指導や見守り活動、パトロール活動の際の参考にしてもらう事、家庭や地域で声をかけてもらう事などが、子ども達の安全を守る事に繋がると答えられました。また、子どもたちの危険に対する判断力を高めていく指導も必要であるとの認識を示されました。

以上、一般質問の概要としてご報告させていただきました。よろしくお願いたします。

「高本教育長」 ありがとうございます。6月定例市議会一般質問における教育問題の報告についてご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

「林委員」 最初の質問に関して、スポーツ公園野球場を中学生の硬式野球ができるように整備を行うということですが、中学生の硬式野球はそれほど数多く行われているのですか。学校の部活動などの利用がない状況で、このような整備を行ったとしても、費用対効果があるのかを伺いたいです。

それからもう1つは、硬式野球場が整備されたとして、硬式野球以外にも、例えば軟式野球など、他にも利用することができるのかを知りたいと思います。

「中村スポーツ課長」 硬式野球場の整備については、平成24年度ぐらいから整備の検討を行ったり、それについての説明会を行ったりして、議会の中でもいろいろ検討させていただきました。高校生は高校のグラウンド、社会人になりますと東海理化のグラウンドが利用できますので、硬式野球場を利用されるのは主に中学生以下の子どもたちということで、今まで検討してまいりました。

中学生の部活動としましては軟式野球だけですので、地域の社会体育として、小中学生が硬式野球を行っています。豊川市内には小学生のチームが4チーム、中学生が5チームほどございますが、特に、豊川市は硬式野球が盛んな地域でありまして、小中学生の大会でもいい成績を収めている土地柄であります。ですから、中学を卒業した後は甲子園を目指して県内ばかりでなく、静岡県ですとか他府県まで留学して甲子園に出場しているような生徒も実際にいらっしゃいます。

ただし、硬式野球場を造るとなりますと10億円、20億円という費用がかかってしまうため、今ある施設を利用して硬式野球ができないか検討を重ねた結果、千両の

スポーツ公園野球場に、一番高い所で15mの高さの防球ネットを立て、千両街道にボールが出ないように措置を取ることになりました。これにより、中学生以下の硬式野球の大会であれば運営できます。

また、市野球場も、平成6年の「わかしやち国体」の際に全面的な改修工事を行ってから20年以上が経過し、老朽化が進んでいるため、硬式野球ができないまでも、軟式野球場として整備を進めましょうという結論に至りました。平成26年度に実地設計を行いまして、今年、27年度に、市野球場の改修工事を行うという経緯を、浦野議員にご説明いたしました。

また、スポーツ公園という一般の方々も利用される公園ですので、硬式野球専用の野球場にする考えはございません。中学生の硬式野球大会は年間に4大会ないしは5大会程度に抑えまして、それ以外は軟式野球やソフトボール、少年野球等で利用していただく考えでございます。市の野球場につきましても、老朽化した部分の改修後は、軟式野球や小学生以下の硬式野球の利用が主となり、その他にもソフトボール、グラウンドゴルフの利用を想定しています。

以上でございます。

**「林委員」** 私は、硬式野球専用となるのであれば、本当にもったいないと思ったのですが、よくわかりました。

**「小田委員」** 野球場の新設について、「財源的に厳しいことから、10年先、20年先といった長期的な課題であると考えている。」と答えられた件についてですが、私は、単に老朽化を補うための計画ではなく、教育委員会の将来に向けてのビジョンを考えていく必要があると思います。今後、硬式野球もできる、もちろん軟式野球もできるような新たなスポーツ施設を造りますとか、複数の老朽化した施設や合併によって分散した施設の整備方針もそうですし、野球場も陸上競技場と併設していないといけないのかなど、今後の教育委員会の競技場のあり方を、市全体のデザインの中で考えていかなければいけないと思います。

それが10年先になるのか、20年先になるのか、その間にどれだけの予算を見越していくのか、難しいかもしれませんが、今後はそういったことを考えていく必要があるのではないかと思います。

**「柴谷教育部長」** 10年先、20年先という言葉は実際に説明会の中でも使わせていただきましたが、その言葉の意味としましては、今の段階では新設することは財政的に非常に難しいので、将来の課題として捉えていただきたいということで、使わせていただきました。浦野議員は、質疑の最後にご本人の思いということでお話されたのですが、今回の硬式野球場に関する教育委員会の対応に納得する、しないということよりも、このままでは、10年後、20年後になっても、状況は変わらない可能性があるため、引き続き、課題があることをしっかりと認識していて欲しいということで発言を終えられました。

また、小田委員の言われるように、将来にあたっての課題につきましても、現時点で何年後とは言えませんが、スポーツ施設全体のあり方について、考えていかななくてはいけないと思っています。今回、浦野議員からのご質問に対し、このようにお答えさせていただきましたので、今後のあり方を考えていくこと自体が課題であると捉え

ております。

以上でございます。

「小田委員」 岡崎市民球場では硬式野球である高校野球の決勝もやっていますよね。豊川市は豊川市のスポーツ施設を集約するビジョンを作ると同時に、豊橋市はこれがある、蒲郡市はこれがある、岡崎市はこれなど、近隣市でお互いに持ち寄って活用していく。そうすることで、豊川市で20億円の費用がかかったとしても、いずれ40億、50億円の効果が生まれるような整備方法を、研究してみても良いのではないのでしょうか。

「柴谷教育部長」 ただ今、小田委員が言われました事も、これから研究を進めていく中で、先回、スポーツ振興計画の見直しを行いましたけれども、そういったところでの、市民の皆様のご意見やアンケートの結果と含めまして、総合的に判断していく必要があると考えております。

「高本教育長」 課題として捉えていくので、10年先、20年先にどうするという事よりも前に、なにか展望が見えればということでしょうか。先程、林委員さんが言われたように、豊川市に硬式野球場を作っていくことのメリットが見えてこない、小田委員さんが言われたように新しい施設という答えが出てこないことかと思しますので、これから検討していく必要性のある内容だと思えます。

他にご意見はありますか。

「林委員」 エアコンについてですが、私は愛知県の設置率の低さにびっくりしているのですが、財政指数の高い愛知県が、全国平均と比べて設置率がこんなにも低いのはどうしてですか。

「菅沼委員」 全国平均は北海道から沖縄県まで全ての都道府県の平均ですね。ぱっと見たときは凄く少ないなと感じましたが、全国で気候がそれぞれ違いますので、同じような気候の地域と比較しないと、全国平均が32.8%だからといって、愛知県の12.9%が低いとは限らないですよ。

「高本教育長」 数字について、なにか説明はありますか。

「鈴木庶務課長」 全国平均と比べると、愛知県は確かに低いです。ただ、首都圏や関西圏などの、校舎の風通しが悪い都市部の設置率が高く、例えば、東京都は99.9%、神奈川県は71.3%というように、平均値を相当押し上げています。もちろん、人口が愛知県より少ない地域でも、香川県で整備率が81%と高い県もございます。

また、愛知県内の設置状況でございますが、市について申し上げますと、名古屋市及び日進市が設置済みという状況になっております。愛知県の12.9%のうち、名古屋市が相当の部分を含んでおり、それ以外は未整備、あるいは検討中という状況でございます。

以上でございます。

「林委員」 今、このエアコンの問題というのは、子どもの健康面から取り上げられていると思いますが、学力面との相関関係はどうでしょうか。今後、このことが一つの大きな課題となってくるように感じます。学力が高い学校にはエアコンが設置されているというようなことが相関関係で分かった時に、豊川市はどうするのかと。市長が総合教育会議の中で、学力面の話題に触れられましたよね。それを考えると今が整備

を行う良い機会ではないかという気がします。是非、エアコンの設置率と学力面との相関関係を一度調べて欲しいと思います。もし関連性があるという事が分かれば、これを1つの契機にしながら、エアコンを設置する方向で働きかけを積極的に行っていただきたいと思います。

「高本教育長」 ただ今、エアコンの設置と学力との相関関係のお話がでていますが、今後、考えられるのは名古屋市や日進市、みよし市、春日井市が県内の中でどのくらい全国学力・学習状況調査の順位と設置率が高いのか低いのかを調査するということですかね。

「菅沼委員」 エアコンをつけたことで学力に大きな変化があったというのであれば。

「林委員」 一番暑い7月に、体の大きな中学生が普通教室の中に30人から35人入るとかなり暑くなりますから、学習に集中できる環境とは言えませんね。是非、データを取ってもらいたいと思います。

「小田委員」 エアコンの設置に関しては予算の問題を第一に言われ、次に東三河は名古屋・尾張・西三河地区よりも1、2度気温が低いことを言われます。また、年配の先生方も、昔はそうじゃなかった、子どもは汗をかくものだからエアコンは必要ないと話しをされる方もいらっしゃいますが、そのような議論は論点が違うと思います。

私は学校を訪問するときは気にしているのですが、市内の学校はどこも風通しは良いと思います。ただ、そうであるからエアコンは必要ないということではなく、もう付けるべき時代だと思います。エアコンが整備された場合には、ここでは決められないことですが、夏休みはもう少し短くしても良いのではないかと思います。

「高本教育長」 高校がエアコンを付けたときの理由のひとつが、学力を高めるということを書いていましたよね。そのかわり、土日や夏休みに補修授業を行いますとも書いていました。

「林委員」 同じ公立でありながら、一方はエアコンが効いた中で快適に勉強が出来る、一方は汗まみれで、そんな差があつて良いのかというような議論にもなりかねませんので、私は早めに対応したほうが良いと思います。

「高本教育長」 先日、みよし市の教育長と話をしたときに聞きましたが、ガスエアコンにしたことで、随分と経費を抑えることがきたそうです。

「柳瀬委員」 ある高校では、電気とガスエアコンを両方使っていると聞いたことがあります。

「高本教育長」 震災以降、節電に努めなくてははいけませんので、できるだけ電力を消費しないものが良いということですね。

「小田委員」 そうですね、設置費もそうですが、ランニングコストがずっと掛ってきますので、この次は冬に暖房を入れるかという論議になってくるのではないですか。

「高本教育長」 庶務課長からコメントはありますか。

「鈴木庶務課長」 エアコンの話ですが、先日も愛知県庶務担当主管課長会議の議題にあがっておりまして、名古屋市が設置した事例を申し上げますと、教育長が言われるとおり、イニシャルコストは電気のほうが1.2倍ほど高くなるそうです。これは、電気についてはキュービクルなど、いろいろな関連設備を変えなくてはいけないということが関係し、ガスの方が安くなります。ランニングコストになりますと、ガスの

方が電気に比べて4倍程度ランニングコストが良いということでした。ただ、一点補足でございますが、イニシャルコストの部分で言うと、エアコン設置費は国の補助金の対象ではございますが、校舎の長寿命化、あるいは、耐震関係に重点が置かれている為、申請しても補助が受けられないというような事例を聞いております。

「高本教育長」 林委員としては、積極的な設置の方向に動いてほしいというご要望、ご意見という事ですね。他にはありますか。

「菅沼委員」 14ページに記載のある豊川市通学路安全プログラムですが、平成26年度は東部中学と一宮中学校区で、今年が南部中学と代田中学校区で実施するということですよ。安全プログラムは26年度から実施でしたか。

「高本教育長」 26年度からスタートです。初年度は東部中学校区の4小学校と一宮中学校区の3小学校が対象でした。

「菅沼委員」 今年が南部中学校区、代田中学校区で、市内全域を5年間で順次行っていくということですね。分かりました。

「高本教育長」 他に何かご質疑等が無ければ、報告の通り承認するという事で、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

異議なしと認め、日程第4、その他報告「平成27年度6月定例会市議会における教育問題について」は報告の通り承認されました。

本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会を閉会します。ありがとうございました。

(午前11時25分 閉会)